

第 3 章

ホストタウン編 — 御殿場市からオリンピックへ! —

オリンピック・パラリンピック史上初の取り組みとなるホストタウン。
東京2020大会に出場する国や地域の住民等と、その国や地域のホストタウン
となる全国の自治体との交流が行われた。
御殿場市は台湾・韓国・イタリア共和国のホストタウンとして、スポーツや文化
など様々な分野で交流をしてきた。
そこにあったのは、たくさんの笑顔であった。
誰もがオリンピック・パラリンピックに関われるのがホストタウンの醍醐味。
私たちの住んでいる「まち」と、東京2020大会に参加する選手の国や地域が、
ホストタウンを通じて繋がり、交流することで大会を超えたつながりを未来に向
けて築いていく。
「ホストタウン」御殿場市が育んだ、国境を越えた絆をここに記録する。

ホストタウンとは

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の開催効果を全国に！

日本の自治体と、東京2020大会に参加する国・地域の住民等がスポーツ、文化、教育、経済などの多様な分野で交流することを通じて、地域の活性化等に活かし、大会を超えて永い交流を実現することを目的とした日本の取り組み。

この「ホストタウン」の取組は過去の大会に無く、2019年12月に「オリンピック休戦決議」が国連総会で採択された際に、史上初の取組として紹介された。

全国各地のホストタウンでは、スポーツの推進、共生社会の実現、グローバル化の推進など様々な活動が実施され、住民と大会参加者や大会参加国・地域の方々との交流、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流が行われた。

市は台湾、韓国、イタリア共和国のホストタウンとして様々な交流を行い、スポーツの素晴らしさや海外の文化を学び、日本の文化を伝え、その交流には多くの市民が参画した。



全国のホストタウン登録数

登録数	462件
自治体数	533(全国自治体数 1,788)
相手国・地域数	185(全相手国・地域数 207)

※2021年9月現在

東京2020大会時の事前キャンプ・事後交流数

		自治体数	相手国・地域数	選手等の人数
オリンピック	事前キャンプ	214	105	7,353
	事後交流	22	16	191
パラリンピック	事前キャンプ	71	52	1,735
	事後交流	13	6	33

※2021年9月現在



台湾について

台湾は日本の南西に位置し、豊かな自然と文化に恵まれた国。日本との時差は1時間で、約4時間で行けるため気軽な海外旅行先として人気である。日本統治時代の名残から、生活様式や文化が日本と似ているところが多く、80歳以上の方の中には日本語を話せる人も多い。東日本大震災の直後には世界最大である200億円を超える義援金が日本に送られるなど、非常に親日として知られている。

DATA	面積：約3.6万km ² （九州よりやや小さい）
	人口：約2,360万人（2020年2月）
	主要都市：台北
	言語：中国語、台湾語、客家語等

東京2020大会 メダル獲得数	オリンピック：金2、銀4、銅6 計12 パラリンピック：銅1
--------------------	-----------------------------------

御殿場 × 台湾

台湾女子サッカー代表が以前から御殿場高原時之栖で合宿を実施、御殿場市サッカー協会が子どもたちを台湾に派遣するほか、富士カントリークラブが台湾最初のゴルフ場である台湾ゴルフカントリークラブの提携クラブとして交流を行うなど、民間レベルでのスポーツ交流が行われていたことから2016年6月にホストタウンに登録。2017年11月には合宿時に市民との交流を行うことを定めた覚書をチャイニーズ・タイペイサッカー協会と締結した。

台湾女子サッカー代表は御殿場合宿時に市内男子高校生との交流試合を行うなど市のスポーツ振興や国際交流に大きく寄与し、大会への出場を期待されたが、残念ながら3次予選で敗退し、出場は叶わなかった。

スポーツ以外では、台湾行政院農業委員会（農林水産省に相当）と日台農作物の交流と協力の強化に関する確認書を結び、国内では珍しい台湾産バナナを活用したホストタウン事

業の周知や、農業委員会主任委員（農林水産大臣に相当）が原里小学校を訪問するなど、交流を図った。



オリンピック・パラリンピックには チャイニーズ・タイペイとして参加



台湾はオリンピック・パラリンピックに『チャイニーズ・タイペイ（Chinese Taipei）』の呼び名で出場し、国旗とは違うエンブレムを使用します。



韓国について

韓国は日本から一番近い国で、日本と時差がなく気候も似ているため気軽に足を運ぶことができる日本に身近な海外である。

キムチに代表される韓国料理やコスメ、音楽、ドラマ、映画など、日本に浸透している文化も多い。朝晩の寒暖差が厳しく、年間平均気温は日本の東北地方に近い。

DATA	面積	約10万km ² (日本の約4分の1)
	人口	約5,178万人 (2019年韓国統計庁)
	首都	ソウル
	言語	韓国語

東京 2020 大会 メダル獲得数	オリンピック	金6、銀4、銅10 計20
	パラリンピック	金2、銀10、銅12 計24

御殿場 × 韓国

御殿場市は、韓国の忠清南道にある論山市とスポーツ・文化・商業など多面的な相互交流の促進や互恵関係の構築を謳った友好交流協定を締結していることから、2016年12月にホストタウンに登録。2017年には韓国文化音楽公演が御殿場市民会館大ホールで開催され、韓国のトップレベルのダンスグループと音楽グループを間近で観ることができる絶好の機会となり、公演には約600人の観客が訪れ韓国文化に触れた。公演の前日には御殿場中学校にてダンス教室が開催され、子どもたちがトップレベルのダンスを体感する機会となった。2018年には市内高校生8名が論山市を訪問し学生交流を実施。海外の文化に直接触れる機会となった。



市内高校生が論山市訪問



ダンス教室による市民との交流



韓国文化音楽公演

論山市DATA

DATA	面積	約555km ² (御殿場市の約2.8倍)
	人口	約118千人 (2021年12月論山市HP)
	特産物	イチゴ・塩辛

論山市内に高速道路が通っており、首都圏からは車で2時間ほど、人口規模や市の木がけやきなど御殿場市との共通点が多い。

イタリア共和国について

イタリアには58件の世界遺産があり世界で最も多い国である。自然、歴史、文化が遺る街に最先端のファッションが融合され、世界屈指の観光大国であり、パスタやピザに代表される食文化は日本でも非常に人気がある。

すべてのスポーツ種目においてイタリア代表は青色 (azzurro/アズーロ) をシンボルカラーとしており、イタリア代表はアズーリ (azzurri/azzurroの複数形) という愛称で呼ばれる。

DATA	面積	約30.1万km ² (日本の約5分の4)
	人口	約6,046万人 (日本の約半分) <small>※2020年国連推計値</small>
	首都	ローマ
	言語	イタリア語

東京 2020 大会 メダル獲得数	オリンピック	金10、銀10、銅20 計40
	パラリンピック	金14、銀29、銅26 計69

御殿場 × イタリア共和国

2016年8月3日(水)、I O C はリオデジャネイロにて第129次総会を開催。東京2020オリンピック競技大会の追加競技が討議され、日本発祥の空手が追加種目として承認された。

市には日本代表を数多く輩出する御殿場西高等学校や、10支部が加盟し多くの空手競技者を育てる御殿場市空手道連盟が所在しており空手が非常に盛んなことから、空手代表チームの大会事前キャンプの誘致を行った。

誘致の中で、藤枝市での大会事前キャンプを決定していた柔道イタリア代表の強化本部長である村上清氏から、空手イタリア代表チームの紹介を受け、視察の受入れを経て大会事前キャンプの御殿場市実施が決定。市はイタリアのホストタウンとして登録(2018年6月)された。



イタリアとの交流（2016年度～2019年度）

交流のきっかけは空手。広がる、様々な交流

2016年8月、東京2020オリンピック競技大会の追加種目として空手が承認された。市には30年以上にわたり全国屈指の強豪校として活躍し日本代表を輩出し続ける御殿場西高等学校空手道部が所在し、御殿場市空手道連盟に加盟する10の支部が多くの空手競技者を育てるなど空手が非常に盛んである。また、東京2020大会に出場する海外のトップアスリートと交流することは、スポーツ振興や国際社会への憧れ創出に繋がる。市の「空手」資源を生かした東京2020大会に出場する海外チームとの交流は、市の未来を創ることに繋がり、レガシーになる。こうした経緯から、空手チームの合宿誘致を行うこととなった。

県内では、静岡県主導のもと合宿誘致が盛んに行われ、藤枝市では柔道イタリア代表との交流が始まった。柔道イタリア代表の全権を指揮する強化本部長を務める村上清氏は、フランス女子代表監督、全日本柔道連盟の強化課長や事務総長を歴任し、リオデジャネイロ2016オリンピックではイタリアに16年ぶりの金メダルをもたらしたことから「マエストロ（魔術師）」と称賛される人物。イタリアは柔道と空手が1つの連盟（イタリア総合格闘技連盟）に属していることから、村上氏を通じて静岡県に空手

の受け入れができる市町の紹介依頼があり、御殿場市が受け入れ意思を伝えたことから、イタリア総合格闘技連盟の御殿場市視察が決まった。

東京でのオリンピック開催、空手競技の初採用、市の空手資源、村上氏による強豪空手イタリア代表チームの紹介。様々な奇跡が繋がり、御殿場市とイタリアの交流は始まった。



イタリア総合格闘技連盟ドメニコ・ファルコーネ会長の視察を受け入れ

藤枝市で東京2020大会に向けた柔道チームの事前合宿に関する覚書締結を行うため来日していたイタリア総合格闘技連盟会長が、御殿場市の合宿環境の視察のため来市した。御殿場市体育館をはじめとする市内施設を確認し、御殿場西高等学校では生徒から熱烈的な歓迎を受け、空手道部の演武のレベルの高さに感嘆した。会長は空手が盛んな市の環境は強化に適していると判断。5月に空手チームの強化本部長を視察に

送ることを約束した。合宿施設は練習施設と宿泊施設が近いことが望ましいというアドバイスがあった。

- 日程：2017年1月8日(日)
■視察者：イタリア総合格闘技連盟会長 ドメニコ・ファルコーネ氏
イタリア総合格闘技連盟事務局長 マッシミリアーノ・バスツッチ氏
イタリア柔道連盟強化本部長 村上 清氏



イタリア総合格闘技連盟ピエル・ルイージ・アスキエリ強化本部長の視察を受け入れ

空手イタリア代表の強化本部長を務めるアスキエリ氏は、1979年から代表チームを率いるイタリアを代表する空手家で、市がオリンピックで金メダルを目指す選手たちの合宿環境に適しているか、選手目線での確認となった。合宿施設として視察した御殿場高原時之栖では、練習施設と宿泊施設が敷地内に位置し、富士山が常に見え、緑に囲まれた施設を称賛。演武を披露した御殿場西高等学校空手道部は基礎がしっかり

しており力強く大変素晴らしく、練習相手として合宿に参加して欲しいと要望された。視察を通し、市は自然豊かで空手の質が非常に高いと評価を受け、11月に日本で行われる国際大会の事前強化合宿を御殿場市で行うことが決まった。

- 日程：2017年5月12日(金)から5月14日(日)
■視察者：イタリア空手連盟強化本部長 ピエル・ルイージ・アスキエリ氏
イタリア柔道連盟強化本部長 村上 清氏



空手イタリア代表チームの合宿を初めて受入れ、交流の開始

2017年11月、東京2020オリンピックに向けた事前合宿地としての最終確認と、25日から始まるKARATE1シリーズA沖縄大会に向けた強化を目的に、空手イタリア代表チームが初めて御殿場市で合宿を実施した。合宿には、御殿場西高等学校空手道部（以下「御西高」）が練習相手として毎日参加、御西高出身で東京2020大会代表の佐合尚人選手や、東京2020大会で銅メダルを獲得した荒賀龍太郎選手を始めとする日本代表選手、更に卒業生が多く所属する国士舘大学空手道部、静岡県強化選手が練習相手として参加した。御西高監督で、日本ジュニア代表監督を務める細矢真人監督の声掛けにより、空手界の第一線で活躍する選手たちが御殿場市に集結しまさに夢のような空間となった。チームは初合宿を通して御西高空手道部の技術の高さや武道精神を絶賛。言葉が通じずとも

空手を通して認め合い対等に接する、素晴らしい機会となった。日々の公開練習には多くの空手キッズが訪れ、トップアスリートの生の迫力や音に驚嘆し、記念撮影やサインをもらうなど交流した。チームは休息日に農協祭への参加や日本食を通して日本文化を体感しリラックス。御殿場高原時之栖の合宿に適した施設やアスリートの身体作りを熟知した食事が強化に繋がることを実感しながら強化を進め、その後出場した国際大会で優秀な成績を取めたことから、御殿場市との間に東京2020大会に向けた交流に関する覚書を締結、大会まで毎年御殿場市で合宿を行いたいと要望があった。

- 日程：2017年11月14日（火）から11月23日（木）
- 会場：御殿場高原時之栖「時之栖アリーナ」
- 参加者：選手17名、コーチ等3名 計20名



チームをお出迎え



御殿場西高等学校がチームの練習相手を務める



イタリア選手から学ぶ



日本代表も合宿に参加（佐合尚人選手）



日本代表も合宿に参加（荒賀龍太郎選手）



チームと高校生が絆を深める



農協祭にて餅まき体験



寿司を食しわさびに絶句！



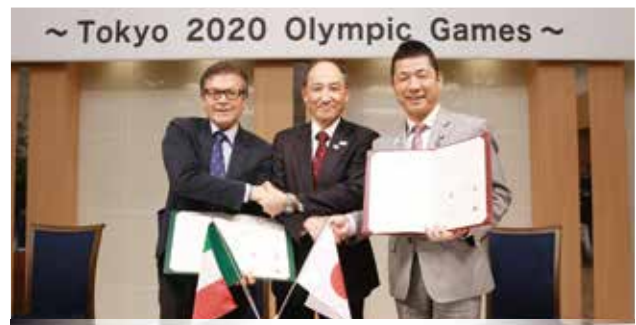
御殿場西高等学校監督にチームが礼

東京 2020 オリンピックに向けた空手イタリア代表チームの事前合宿に関する覚書を締結

東京 2020 オリンピックに向けた御殿場市での事前合宿と、市民交流について、市とイタリア総合格闘技連盟が覚書を締結した。この締結により、御殿場市はイタリアのホストタウンとして国に認定され、積極的な交流が推進されることとなった。

- 日 程：2018年3月20日(火)
- 会 場：御殿場高原ホテル B.U
- 調 印 者：御殿場市長、イタリア総合格闘技連盟会長
- 立 会 人：(公財)日本オリンピック委員会副会長 齋藤 泰雄氏
世界空手道連盟事務総長 奈藏 稔久氏

- 覚書内容：
- ・イタリア総合格闘技連盟は、御殿場市において、2020年東京オリンピックに向け、空手競技の大会前のトレーニングや大会準備のための環境を整えることを目的に、事前合宿を実施する。
 - ・御殿場市はイタリア共和国が東京オリンピック空手競技において、素晴らしい成績を残せるよう良好なパートナーとして支援を行う。
 - ・御殿場市とイタリア総合格闘技連盟は、東京オリンピックに向け、空手を通して、人的、文化的な交流を図り、スポーツの促進、国際化への対応等を推進する。



覚書締結



調印式集合写真

2018年御殿場市合宿、そして御殿場市スポーツ祭へ参加

2018年10月12日(金)から始まるKARATE1プレミアリーグ東京大会に向け、2回目となる御殿場市合宿が開催された。東京2020大会の出場権は2018年7月から大会前までのKARATE1で獲得したポイントが非常に重要となっており、大会出場をかけた熾烈な競争が始まった。初合宿同様、御殿場西高等学校空手道部が練習に参加。世界ランキング1桁の選手たちと鍛錬を積んだ。空手発祥の国、日本で全国制覇を数多く成し遂げている空手道部だからこそ、トップアスリートの練習相手を務めることができた。公開練習により市民と

交流したほか、トップアスリートの本気を「観る」機会を創出することを目的に、御殿場市スポーツ祭空手会場にイタリア代表が参戦。御殿場西高等学校空手道部との交流試合を実施した。500人を超える市民が観戦し、その演武や技に見入った。試合後にはチームと交流し、多くのファンが生まれた。

- 日 程：2018年10月4日(木)から10月11日(木)
- 会 場：御殿場高原時之栖「時之栖アリーナ」
- 参加者：選手14名、監督、コーチ3名 計17名



市スポーツ祭集合写真



高校生と選手が日々練習



市スポーツ祭で空手イタリア代表が形披露



お互いを高め合う



子どもたちが選手と交流



高校生との交流試合



練習風景

欧州文化首都でイタリアのホストタウン「御殿場市」をPR

2019年の欧州文化首都の舞台はイタリア・バジリカータ州・マテラ。イタリア総合格闘技連盟バジリカータ州支部は、欧州文化首都の事業の一つとして国際カンファレンスを開催。ホストタウンとして交流する縁から、御殿場市長に「スポーツ施設の重要性和社会的価値」について、御殿場西高等学校校長に「学校教育における運動活動の役割」について、カンファレンス内での講演依頼があり、招聘された。市長は市に所在するスポーツ施設により市民ひとり1スポーツが推進されていることや、施設や環境をイタリアが選んでくれ、市の未来を担う子どもたちが空手イタリア代表と国際交流できていることを紹介した。校長は全授業の10分の1以上を体育が占める日本の授業構成や、体育や部活が人間形成に非常に重要で役立っていることを講演した。講演後両氏は、学校教育に占めるスポーツの割合が低く、スポーツ施設が限られていることから、スポーツ離れの低年齢化が進んでいることが懸念されているイタリアの教育者や医師、大学教授から大きな拍手を受けた。マテラの空手道場訪問では、空手発祥の国で日本一の空手道部を創設した菊池基御殿場西高等学校校長が紹介され、イタリアの空手キッズは大いに喜び歓待した。

- 日程：2019年7月2日(火)から7月6日(土)
- 訪問先：欧州文化首都マテラ2019、イタリア総合格闘技連盟、イタリアオリンピック委員会、バジリカータ州庁、
- 参加者：御殿場市長、御殿場西高等学校校長



マテラ県知事面会



イタリア総合格闘技連盟訪問



イタリアオリンピック委員会にて空手交流を報告



欧州文化首都で講演



空手道場訪問

2019年御殿場市合宿、子ども空手教室開催

2019年9月6日(金)から始まるKARATE1プレミアリーグ東京大会に向けた強化を目的に、3回目となるチームの合宿が開催された。御殿場西高等学校空手道部の参加も3回目を迎え、心の通じ合いを感じる合宿となった。また、公開練習には延べ500人を超える市民が訪れ、イタリアチームのファンが増えていること、東京2020大会に向けた機運の高まりを感じた。今回の合宿では、空手イタリア代表チームによる子ども空手教室を実施。初めは緊張していた子どもたちもイタリア選手の明るい人柄に緊張がほぐれ、夢中になって突きや蹴りの練習に参加した。イタリア選手たちとの組手も体験。物怖じせず全力で挑んでいく子どもたちに会場は湧き、かけがえのない経験となった。基礎練習、イタリア代表との組手、

質問コーナーでの対話など、世界で活躍する選手と一緒に過ごした経験は、子どもたちの空手への情熱をさらに強くした。

さらに、藤枝市との相互交流も実施された。子どもたち20名が藤枝市へ訪問し、柔道イタリア代表チームとの交流や抹茶体験を行った。藤枝市からは20名が来訪し、空手イタリア代表チームと交流、そば打ち体験、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースを見学した。県内で初めてとなる同じ国のホストタウン自治体による交流。両市の子どもたちが武道や両市の魅力を肌で感じられる機会となった。

- 日程：2019年8月26日(月)から9月5日(木)
- 会場：御殿場高原時之栖「時之栖アリーナ」
- 参加者：選手14名、監督、コーチ3名、トレーナー 計19名



選手への質問コーナー



市民がチームの練習を見学



子どもたちと選手と一緒にアップ



子どもたちの気迫のこもった表情



選手からサインをもらう子どもたち



御殿場市の子どもたちが柔道イタリア代表チームと交流

イタリアとの交流（2020年度～大会前）

大会が延期となった2020年。再会を信じ、互いにエールを送り励まし合った。

2020年3月10日（火）、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イタリアでは欧州初となる全土ロックダウンを実施。3月24日（火）には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定した。翌月16日（木）には日本でも初となる全国への緊急事態宣言が発令された。

東京2020大会への初出場を目指す空手イタリア代表と、大会に向けた事前合宿を迎え入れる御殿場市は再会を信じ、互いにエールを送り励まし合った。直接的な交流はできずとも、コロナ禍の中で見つけた新たな交流の形は、御殿場市と空手イタリア代表チームとの絆をさらに深めていった。

空手イタリア代表の選手から市民へメッセージ

2020年3月、前例のない全土ロックダウンが実施される中、空手女子形代表のヴィヴィアーナ・ボッターロ選手から御殿場市民に向けたメッセージが届いた。「みんなに会えることを楽しみにしています。また一緒に練習しましょう！元気でね！」大会に向け、自宅で練習を続けている姿とともに、市民との交流を心待ちにしているメッセージを送ってくれた。



動画 URL：<https://youtu.be/xraQcEUuk80>

国境を越えて想いを届けた空手イタリア代表応援動画

市では、ホストタウン交流の推進役としてチームを応援する機運を市全体に広げていくために結成された空手イタリア代表応援サポーター「FORZA!AZZURRI」が、初活動として空手イタリア代表応援動画を制作した。330人のサポーターが参加し、延期となった大会に向け、調整が困難な状況にあるチームにエールを届けた。動画を見たチームからは「何としてもオリンピック、そして、お礼をしに行きたい」「こんなに思ってくれていることが本当に嬉しい、涙を流しながら見

た」等の反応があり、サポーターとチームの絆が深まるきっかけとなった。この取り組みは、全国のホストタウンの取り組みを紹介するホストタウンサミット2021にて、500以上あるホストタウン自治体の中から「オンライン交流賞」の特別賞を受賞した。

配信日：2020年12月21日（月）

動画 URL：<https://2020games.spotogotemba.com/post-845/>



心を込めた贈り物、ポルタキャーヴィを届けた

2021年3月27日(土)、東京2020大会の開催を信じて練習を続けるチームに向けて、コロナ禍を共に乗り越えていこうという想いを届けるため、御殿場市文化協会を講師に招き、18名のサポーターがイタリア語でキーホルダーの意味を持つ「ポルタキャーヴィ」を製作した。選手の大会での活躍を願うメッセージも同封された。ポルタキャーヴィは、これまで練習を共にしてきた御殿場西高等学校空手道部や同校手芸同好会、御殿場市文化協会の関係者も製作し、計67個をイタリアへ届けた。この取り組みは選手と直接的な交流ができない中でも、東京2020大会でチームを応援

することを楽しみにする機会となった。東京2020大会時には、イタリアチームがポルタキャーヴィを身に付けて来日。「素敵なポルタキャーヴィをありがとう!」とお礼が伝えられた。



思いよ届け！チームを歓迎する準備は万端

合宿会場となる御殿場高原時之栖で御殿場市空手道連盟などから18名の方がピザトッピング体験を通してイタリア食文化に触れながら、イタリア代表チームを歓迎、応援する気持ちや思いを込めた短冊を制作し、事前に集まった200以上の短冊を合わせて筐に飾り付けをし、チームを受け入れる準備をした。短冊には、選手へのメッセージや、市に来てくれたことを感謝するメッセージ、金メダルを見てみたい！など様々なメッセージが寄せられた。この取り組みには、これまで藤枝市で行われていた柔道イタリア代表チームの東京2020大会直前合宿が御殿場市で実施することが決まったことを受け、御殿場市柔道連盟の子どもたちも参加。相互交流で柔道チー

ムとの交流経験があり、「御殿場市に選手が来てくれることが嬉しい」と意気込んで短冊制作に取り組んだ。

- 開催日：2021年7月17日(土)
- 会場：地ビールレストラン グランテンプル
- 参加者：18名



柔道イタリア代表が御殿場で合宿を実施

藤枝市がホストタウンとして交流する柔道イタリア代表チームの東京2020大会直前合宿について、国が定める感染症対策であるバブル形式にかかる準備の一元化や、選手の移動負担を軽減できることから、イタリア総合格闘技連盟および藤枝市の希望で、空手チームが合宿する御殿場高原時之栖で実施することとなった。

イタリア代表チームが万全なコンディションで大会に出場できるよう最高のおもてなしをすることを発表。2つの自治体が連携し、1つの施設で複数競技を受け入れる形は全国のモデルケースとなった。合宿には市内の柔道キッズが見学に訪れるなど、世界ランキング1位を擁するイタリアチームの迫りに魅了された。

2021年6月28日(月)に御殿場市、藤枝市、時之栖による合同記者会見を実施。誰もが安全・安心な合宿受け入れを行い、両市が合宿受け入れのノウハウを共有しながら、ホストタウンとしてイ

- 日程：2021年7月17日(土)から7月21日(水)
- 合宿施設：御殿場高原時之栖
- 参加者：東京2020オリンピック柔道競技出場選手8名、強化本部長・コーチ・医師・トレーナー6名、練習パートナー8名



東京2020大会事前合宿の受入れ

いよいよ本番！空手界初のオリンピックとなる選手たちが2年ぶりに来日

東京2020オリンピック出場のため、空手イタリア代表が御殿場市に帰ってきた。市は、新型コロナウイルス感染症対策のため国が定める「バブル方式」での感染症対策を実施。市民との直接的な交流ができない中、「FORZA! AZZURRI」が中心となり、応援の気持ちを込めた短冊や書道で合宿所を装飾。そして公開練習に多くの市民が訪れ、夕食時には市民からの応援動画が連日上映されるなど、初めてのオリンピックに向け心身両面を追い込む選手たちの心を癒す様々な形の交流を行い、チームの大きな力となった。

暑い日々を綴った合宿の詳細レポートは御殿場市東京2020大会ホームページから。

■<https://2020games.spotogotemba.com/italykarate-main/>

- 日程：2021年7月23日(金)から8月3日(火)
- 合宿施設：御殿場高原時之栖
- 参加者：東京2020オリンピック空手競技出場選手5名、強化本部長・コーチ・医師・トレーナー12名、練習パートナー7名



国・県・市が連携し安全・安心な受入れを実現

海外選手団を受け入れるにあたり、ホストタウンは「感染防止対策を講じた上で、充実した交流を実現し、それを大会後のレガシーとしてつなげることが重要」と方針が示された。市は、誰もが安全・安心な合宿受入れを実現するため、国の示す「バブル方式」での受入れマニュアルを作成。マニュアルでは、入国から出国までの選手団行程に合わせた各場面における主な対策（行動ルール、専用車での移動、市民との動線分離、合宿施設の貸切等）や検査の実施方法をまとめた。静岡県は来日後に行う毎日の検査の実施体制を整え、感染者発生時の対応等を整理。これらの対策は国予算により実施され、国・県・市が一体となり受入れを実現させた。

■感染症対策の方針

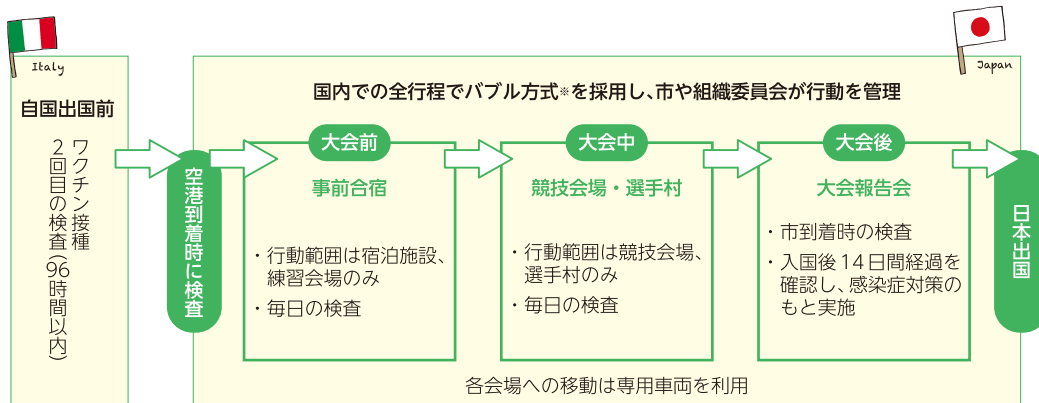
大会出場前 ⇒ 国基準によりバブルを形成し、国民との接触を完全に排除

- ・入国前14日間の健康モニタリングおよび定期検査
- ・入国時および日本滞在中毎日検査
- ・日本国内の行程は事前登録、市が行動を管理
- ・日本国内での感染症対策は国予算により県市が実施
- ・空港～合宿所～選手村への移動は専用車両使用
- ・合宿所をゾーン管理し市民との接触機会を排除

大会出場後 ⇒ 新しい生活様式の則った感染症対策（入国後14日を経過）

- ・検温、手指消毒、マスク着用を徹底、定期検査を実施

■参加選手の日本入国から出国までのバブル形成



※バブル方式：選手などを隔離し、行動を制限し、外部の人との接触を遮断する方法

待ちに待った2年ぶりの再会

2021年7月23日(金)、チームが直行便で成田空港から入国、専用バスで御殿場市に到着した。待ちに待った2年ぶりの来市に、市民は懸垂幕を掲げ大歓迎した。イタリアから長時間の移動となったが、大歓迎にチームは驚き、最高の笑顔で応えた。

翌日、7月24日(土)にはチームの歓迎セレモニーを実施した。再会を心待ちにしていたセレモニー参加者とチームは、喜びを伝え合った。出場選手の等身大パネルがお披露目され選手は大喜び。パネルには、選手それぞれのサインが入った。



東京2020オリンピックに向けた最後の追い込み

本番に向けた調整は困難を極めた。全員が初めてのオリンピック。そして感染症対策により外出が出来ない環境。日本特有の蒸し暑さ。東京2020オリンピックに心身ともに万全なコンディションで挑むため、選手、監督、コーチ、トレーナー、そして練習パートナーが一丸となり、士気を高め合い、お互いの熱い思いをぶつけ合いながら1日1日を大切に過ごしていった。

「あなたの勝利は私の勝利」。練習パートナーから選手に贈

られた言葉が日に日に1つになるチームの様子を表していた。

7月26日(月)から8月2日(月)まで行われたチームの公開練習には、延べ200名の市民が参加した。よい突きが出たとき、よい形を打ったとき、見学者から大きな拍手があった。どれだけ精神的に追い込んでいても、疲労困憊であっても、練習後に見学者へファンサービスする姿は、どれだけ選手たちにとって御殿場市民からの応援が嬉しいかを物語っていた。



公開練習



市民の想いで合宿会場を装飾

合宿会場となった時之栖には市民の応援や歓迎の想いを込めた短冊や、御殿場高等学校書道部によるイタリアチーム全員の名前を漢字で書いた歓迎書道が飾られた。チームは、市民か

らの応援を身近に感じ、短冊や書道を持って帰るなど、心の交流となった。



応援動画の上映と、オンライン交流

1日の練習が終わり、ようやく緊張がほぐれる夕食。ここではイタリアチーム応援動画を上映した。市内の9つの団体が参加した応援動画はチームから大絶賛。選手からお礼のコメントが市民に送られ、互いを身近に感じる交流となった。

最後の練習を終えた8月2日(月)には、過去3回行われた御殿場合宿の際にイタリアチームの練習相手を務めた御殿場西高等学校空手道部とのオンライン交流を実施した。御殿場

西高校空手道部は1週間後にインターハイを控え、3連覇に向けて厳しい練習を重ねている最中。「世界一」と「日本一」を目指している両者は、過去の合宿でお互いを心から尊敬し、高め合ってきた。画面上にお互いの姿が見えた時の大歓声と拍手、チームキャプテンであるルイーダ・ブサ選手の第一声「君たちがいなくて本当に寂しい」という言葉が、お互いの信頼と友情を感じさせた。



空手イタリア代表チーム壮行会

合宿最終日の8月3日(火)、チームの壮行会を実施。チームからは「事前合宿を素晴らしいものにしてくれてありがとう。すべての空手の歴史を作る戦いにしたい。」と感謝の言葉と大会への意気込みが語られた。また、合宿期間中、市民からの応援メッセージを寄せ書きしたイタリア国旗をプレゼントし、想いを届け大会へ送り出した。



空手イタリア代表選手紹介

武道の聖地、日本武道館でイタリアチームが大活躍

2021年8月5日(木)から7日(土)にかけて、東京2020オリンピック空手競技が日本武道館で行われた。空手イタリア代表チームからは5名の選手が出場し、初日、ポッターロ・ヴィヴィアーナ選手(女子形)が銅メダル、2日目にはブサ・ルイーダ選手(男子組手-75kg級)が金メダルを見事獲得した。

東京2020オリンピック空手競技日程

- 8月5日(木) 女子形、男子組手-67kg級、女子組手-55kg級
- 8月6日(金) 男子形、男子組手-75kg級、女子組手-61kg級
- 8月7日(土) 男子組手+75kg級、女子組手+61kg級



ブサ・ルイーダ選手

■男子組手-75kg級 金メダル獲得

19歳で世界空手道選手権大会で優勝し世界一となり、それから10年以上第一線で活躍する空手界の伝説。空手イタリア代表チームのキャプテンでもあり、チーム全体に気を配り盛り上げる。

武道家として礼儀を重んじ、練習相手を務める御殿場西高等学校空手道部に常に敬意を表す。

東京2020大会では、決勝で往年のライバルであるラファエル・アガイエフ選手(アゼルバイジャン)を下し、悲願の金メダルを獲得した。



ブサト・マッティア選手

■男子形 7位入賞

非常に空手に熱く、チーム一の練習量を誇る。来市する度に体が大きくなり、力強さが増していった。ユーモアに富みチームのムードメーカーな一面も。

東京2020大会では、1回目の演武で痛恨のミスがあったが、集中を切らさず2回目の演武「ウンスー」で高得点をたたき出した。

大会後に行われた御殿場市の大会報告会では、多くの市民の前で「ウンスー」を披露。オリンピックの迫力を市民が体感する貴重な機会となった。



ポッターロ・ヴィヴィアーナ選手

■女子形 銅メダル獲得

10代の頃からイタリア代表として世界で活躍するチームの副キャプテン。早々に出場権を獲得したが、大会が延期となり、2020年夏、交通事故により股関節に大怪我を負う。一時は出場が危ぶまれたが、空手人生の集大成となるオリンピックに出場するため必死のリハビリを経て復帰した。

東京2020大会では、3位決定戦で「スーパーリンペイ」を演武。その日一番の得点を叩き出し見事銅メダルを獲得した。



クレシェンツォ・アンジエロ選手

■男子組手-67kg級 棄権

2018年の世界空手道選手権大会の決勝で、御殿場西高等学校卒業の佐合尚人選手を下し優勝。一気にオリンピック出場選考ランキング1位となりそのままの勢いでオリ

ピックの出場権を射止めた。

東京2020大会では、試合中のアクシデントにより途中棄権となったが、夢にまで見たオリンピックの舞台に立つことができた喜びを噛み締めた。



セメラロー・シルヴィア選手

■女子組手+61kg級 5位入賞

長い手足を生かしたダイナミックな蹴り技が魅力。オリンピック出場をかけた最終選考大会で銀メダルを獲得し、切符をつかみ取った。自分にも仲間にも非常に熱く、底抜

けの明るさを備える。

東京2020大会では、予選初戦で日本代表の植草歩選手に勝利するなど奮闘を見せたが惜しくも準決勝に一步届かなかった。

パブリックビューイング、大会報告会の開催

国の垣根を超えて、イタリアを応援

空手イタリア代表チームを応援。パブリックビューイング

市では、空手競技を大画面で中継するパブリックビューイングを開催。空手を習う子どもたちを中心に延べ70人の市民が会場を訪れイタリア代表を応援した。3日前まで市で合宿をしていた選手たちがオリンピックの舞台上で躍動する姿は市民に夢を与え、国の垣根を超えてイタリア代表を応援する光

景はオリンピック、そしてホストタウンならではのものとなった。

■日 程：2021年8月5日(木)～8月7日(土)
■会 場：御殿場市民会館小ホール



空手イタリア代表チームと感動を共有。大会報告会

大会終了後、オリンピックの興奮冷めやらぬ中、オリンピックとなった空手イタリア代表選手5名が御殿場市に凱旋し、大会報告会に出席した。

チームを代表して、ピエル・ルイーダ・アスキエリ監督は「合宿の地に御殿場を選ばせてもらい、大会に向けた準備がしっかりできました。御殿場市の環境は本当に最高でした。これまで関わってくれた全ての人に感謝し、大きなグラツェ（ありがとう）を送ります。」と語った。また、イタリア代表チームのキャプテン、男子組手・75kg級で金メダルを獲得したブサ・ルイーダ選手からは、「御殿場の皆さん、本当にありがとう。これまで何年もお世話になり、皆さんの応援のおかげでオリンピックでも良い結果を残すことができました。御殿場西高等学校空手道部を始めとする市民の皆さん、子どもたち、本当にありがとう。」と感謝が語られた。報告会は、各選手への

インタビューに始まり、2017年から始まったチームと市との5年間の交流の振り返り動画の上映、ブサト・マッティア選手による形演武披露、市民から選手への質問コーナーなど盛りだくさんの内容となった。

日本空手協会御殿場富士山支部の杉山凜帆さんは「FORZA! AZZURRI」応援サポーターを代表し「イタリアチームの皆さんに空手の楽しさ、魅力を教えてもらいました。」と感謝を伝えた。

ホストタウンとしてイタリアと行った様々な交流は、市民や子どもたちが海外を身近に感じ、トップアスリートと触れ合うとてもかけがいのないの機会となった。

■日 程：2021年8月9日(月)
■会 場：御殿場市体育館アリーナ



空手イタリア代表チームと感動を共有。大会報告会



イタリアとの交流を振り返って

INTERVIEW



空手を架け橋に
心が通じ合う仲間！

御殿場市空手道連盟会長
菊池 基さん

イタリア代表チームとは、徐々に打ち解けてつながりが強くなり、空手を架け橋に心が通じ合う仲間になりました。共に練習した御殿場西高校の生徒にとっては、その想いが特に強かったと思います。出場した5人の選手は、合宿に来るたびに強くなり、本番ではメダルを十分狙えると実感していました。世界の強豪たちの中で力のある試合をしていたので本当に感動しました。

チームとの交流は、子どもたちが世界という大きな舞台を意識するきっかけになりました。広い視野を持って、将来の夢や目標を考えてくれると思います。機会があれば今後も交流を続けていきたいと考えています。



身近な選手が
頑張っている姿に感動！

日本空手協会 駿河支部 眞空塾
勝村 真子さん

空手イタリア代表の選手たちとの交流の中で、オフはフレンドリーで、練習や試合の時は真剣な姿になるところに憧れるようになりました。大会直前合宿では、コロナ禍でこれまでのような交流はできませんでしたが、2年ぶりに会うことが出来て嬉しかったです。空手競技は今大会が初めて最後のオリンピックでした。出場した5人は、堂々としていて、試合での積極的な姿にオリンピック選手のすごさを感じました。

応援する身近な選手がメダルを獲得したり、頑張っている姿を観たりすることができて本当に感動しました。今後も交流できることを楽しみにしています。